

事務事業 No./名称	□サービス部門 経企-09 事務管理事務					ザイムスコード及び個別事業名		
	■支援部門					263	事務管理事務	
主管課	行革推進課		関連課 全課			264	事務改善事務	
分野名	行財政運営							
目標 (目標値)	組織の効率的運営 組織の合理化 平成22年4月1日職員数 1,424人							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度		備考			
	人口	176,669人	176,484人		・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	201千円	21,613千円		指標と評価			
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	201千円	21,613千円					
	人員配置数	2人	2人					
	人件費	17,908千円	18,680千円					
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	18,109千円	40,293千円		指標	職員数の適正化 (各年度4月1日時点)		
	市民1人当 りの経費	103円	228円		評価	◎		
	対象者1人 当りの経費				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名	横須賀市	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	目標値	実績値
	人口1,000人当 たりの職員数(平成 21年4月1日現在・普通会計)	6.49	7.46	6.03	5.68	7.58	20年度	1,482人
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・直営管理施設について、新たな指定管理者制度の導入検討が十分でなかった。 ・新たな委託化の検討が十分でなかった。						
	創意・工夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・直営管理施設について、平成23年度新たに指定管理者制度を導入する施設の検討を行った。						
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・第2次職員数適正化計画は、21年度4月1日現在での目標は達成したが、22年度目標は計画策定時には想定されていなかった消防署出張所の新設もあり、達成することができなかった。						
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・第2次職員数適正化計画が平成22年度で終了するため、23年度以降の新たな職員数適正化計画の策定に向けた準備を進めていく。 ・直営施設への指定管理者制度の支援を行っていく。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性		
A	有	市民サービスの低下をきたさずに、新たな民間委託や指定管理者制度の導入等を支援していく。			A	有	第2次職員数適正化計画の目標は達成することができなかったが、引き続き、次期職員数適正化計画を策定し適切な定員管理を行っていく。	
課長名		小嶋 秀一郎			部名・部長名		経営企画部 瀧澤 由人	